ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

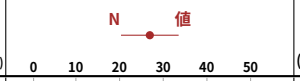
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3	調査位置				北　緯	36 ° 37 ' 17.8000 "
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2009-08-25 ～ 2009-08-31	東　経	139 ° 42 ' 34.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	204.90 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	203.10	1.80	1.80		シルト質砂礫 (GSM)	暗褐			崖錐堆積物である。 0.00～0.40mは木根を含む。 φ1～5cmの角礫を含む。マトリックスは砂混じりシルト。 下部は角礫を多く含み、礫径も大きい。		
2	199.05	4.05	5.85		砂礫 (GS)	黄褐			段丘堆積物である。 φ1～5cmの円～亜円礫を多く含む。φmax=18cm。 マトリックスはシルト混じり砂、礫種は砂岩が多い。 2.45～4.00m、5.23～5.70mは送水掘削のためマトリックスは流出している。		
6	196.90	2.15	8.00		砂岩・頁岩互層 (Ss/Sh)	暗灰～黒灰 暗灰～黒灰 暗灰～黒灰			砂状～角礫状コアである。 細粒砂岩優勢の頁岩との互層である。 [6.60]細粒砂岩地質の境界はうねっているが、傾向は高角度である。 頁岩は黒灰色を呈し、岩片～細片状コア。 下部にチャートを挟む。層理面の傾斜は50 °。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	5	10／30	10
2.15	7	6	10	23／30	23
3.15	9	7	7	23／30	23
4.15	2	1	1	4／30	4
5.15	50／8			50／8	>50
6.00	50／2			50／2	>50
7.00	50／2			50／2	>50
8.00	50／4			50／4	>50



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						08/25
						08/26
						08/27
						08/28